令和６年１１月

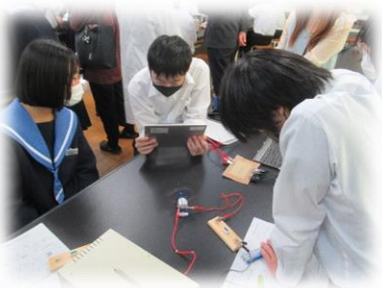
桃山中学校ハッピー桃太郎だより

～誇りのもてる学校をめざして～

「授業力向上実践研究発表会」について

１１月１２日(火)の午後から、本校で公開授業研究発表会を行いました。２年３組の理科(平山 開士先生)、３年２組の国語(田邊 さやか先生)、３年４組社会(塩田 匠先生)の授業でした。桃山校区小中連携授業の日も兼ねていたため、新川小学校、小羽山小学校の先生方、また宇部市内外からも、たくさんの方に参観していただきました。

本年度の研究主題は**「学力向上をめざした　生徒誰一人取り残さないための授業改善」**で、授業者だけではなく、桃山中学校の教職員全体で授業改善を行ってきました。生徒の「主体的に学習課題に向かう姿勢」や「学習内容の理解の向上」のために、今年度は**「学び直し」**をキーワードに学習を進めています。そのために授業では、課題の問題が分からず困っている生徒への支援を大切にしてきました。公開授業では、生徒は本当に意欲的に学習課題に向かっていました。「思考しできたこと」が、生徒の達成感につながっているようでした。

また、生徒会の学習委員会の活動でも、夕学で「学び直し」の時間を設定しています。「分からない」を「分かる」に変えていくためには、どこが分からないのかを明確にし、「分からない」を、どのようにして「分かる」に変えていくのかが重要です。テストでできなかった問題を、できるに変えていくことも大切だと思います。今後は、「学び直し」を家庭学習でも強化することで、より学力の向上につなげていきたいと考えています。

午前中の授業公開にも、たくさんの保護者の方に参加していただき、本当にありがとうございました。裏面には、ご協力いただいたＰＴＡ研修部の皆様からの活動報告を載せています。併せてご覧ください。